

～それからのひとりごと～

③ 絆と夢と…



筆者：あーたん
夫、子ども2人（にいちゃん、りよりよ）の4人家族。駐在員妻として2年半ベルギーに滞在。ベルギーでの日常生活を人気のブログで語っていた。2011年3月に帰国
<http://asahia.jugem.jp>

日本に帰ってきて初めてのお正月。実家で母の手作りおせちを堪能できました（りよりよは初めてのお年玉に大喜び!）。

今年の年賀状は東日本大震災のこともあり、「明けましておめでとうございます」という言葉ではない挨拶の言葉を使う賀状が多かったとも聞きます。我が家も然り。年始の番組も震災を意識した構成のものが多かった気がします。2011年の流行語大賞も、その影響で「絆」でした。絆という言葉をもとに考えてみました。家族間、友だち間の濃い絆も大切だと思うのですが…。

「Pardon」少し自分が体に触れてしまったときでも、ベルギーの人たち老若男女かわからず、必ずかけてくれていた言葉。人によっては目を合わせてくれて、日本人だとわかると、さらに気持ちを伝えようと表情を作ってくれる人もいました。私も言葉を上手に伝えられないからこそ、同じように表情を豊かに言葉を伝えようと心掛けていました。そんなちょっとした言葉や表情のやり取りで気持ちが明るくなったり、やさしい気持ちにもなれました。全然知らない目の前の人、私にとっては関係のない存在でもこの人を大切に思っている人がいるのだから、大切に接するべきなんだと思うようにしています。これは万国共通。だからこそ、ちょっとした小さなひとことをちゃんと伝えることが大事なことで、相手にとっても自分にとってもその日一日、もしかしたらずっと一生心に残る温かな思い出になるかもしれない。その積み重ねも人と人との絆の一端なのかもしれないですね。

いろいろな人がいたベルギー、苦い経験もしました。でも、ベルギーの人たちを見習いたいのは、相手に伝えようとする気持ちや優しい気遣い、言葉。日本でもちょっと肩が触れた時でも、「ごめんなさいね」やふとした優しさ

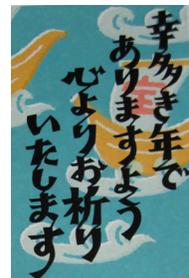
も笑顔で「ありがとう」と言える自分でありたいです。

さて、にいちゃん、冬休みの宿題の一つに将来なりたい職業について考えるというものがありません。なりたいたい職業をまず考え、そうなるためには、どういう手順、努力が必要かをレポート風にまとめるというもの。以前なら憧れで「野球選手!」と即答していたのです。一度海外生活をした家族としては、「海外で働きたい!」とか言ってほしいなと期待していたのですが、警察官か動物に関係する仕事につけられないなあと思っているようでした。情報を得るためにパソコンの前に向かって考えあぐねているにいちゃん。面白い宿題だなあと様子を見ていました。あれ? 私たちが中学1年生の頃ってこんなこと考えていたかなあ…。2年生になると、就職体験といって自分の働いてみたい職場で数日間実地体験もできるのです。私の中学生時代に比べると、最近の子どもたちの環境は夢を夢としてだけではなく、現実的なものとして受け入れられる土台作りがしっかりしているようですね。

かたや、りよりよ、「おっきくなったら、サッカー選手に、宇宙飛行士に、警察官に、郵便配達のおにいさん。バイクで手紙配るの。」と、現実的なのか非現実的なのか…（笑）。外で遊ぶりよりよの憧れは郵便配達バイクお兄さん。いそいそと手紙を受けるのが大好きな6歳児、夢見る今年ピカピカの一年生予備軍なのであります。

2人とも将来、家族や周りの人との絆を大切にしながら、それぞれの夢をかなえられますように…♪

最近、寒いながらも日差しの中はすこ～しだけ新しい季節の気配も感じられるようになってきました…。



韓国料理レストラン

ソウル



世界で一番おいしい焼肉をお楽しみください。
ニンニク炒飯、カルビ
韓国豆腐なべ あります。

ヒルトンホテル (Hotel HILTON) 前

営業時間：12:00～14:00 18:30～22:30

日・月昼・火昼・水昼休み

RUE CAPITAINNE CRESPEL 14, 1050 BRUSSELS

Tel 02-513-1725

LA TOUR D'ARGENT

ベトナム料理

レストラン ケータリング

夏はテラスでお食事を

Avenue Salomé 1

1150 Bruxelles

Tel 02 762 99 80

12h-14h30 19h-22h30

水、木昼、土昼定休